

地域医療基盤と研究基盤推進のための
医療情報標準化シンポジウム開催のご案内

日 時：2014年3月17日(月)13:30~16:45

場 所：東京大学伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

〒113-8654文京区本郷7-3-1

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_33_j.html

◆◆◆ プログラム (予定) ◆◆◆

◆ 第1部 ◆

13:30 開会

13:35-13:45 講演1 医療の情報化と標準化(仮)

渡辺顕一郎(厚生労働省医政局研究開発振興課 医療技術情報推進室長)

13:45-14:00 講演2 国際標準化の最近の動向 木村通男(浜松医科大学)

14:00-14:15 講演3 標準ストレージSS-MIX2を採用した2つの事業

—医療情報DB基盤整備事業と国立大病院災害対策バックアップ事業 大江和彦(東京大学)

14:15-14:30 講演4 外科手術名とコードの標準 —外保連試案第8版

岩中督(外科系学会社会保険委員会連合手術委員会委員長・東京大学)

◆ 第2部 ◆

14:30 「電子的医療情報の利活用に必要な標準化の普及策に関する研究」

厚生労働科学研究班報告会

1) 既にある標準と新しい標準 大江和彦(研究班代表/東京大学医学部附属病院)

2) 生体情報の収集管理における標準化 中島直樹(九州大学病院)

3) 臨床検査項目標準コードの動向 康 東天(九州大学病院)

4) 画像検査項目コードJJ1017の概要と利用ガイド 木村通男(浜松医科大学医学部附属病院)

5) ユーザインタフェース標準のための分析 近藤克幸(秋田大学医学部附属病院)

6) 医薬品情報の標準化の動向 土屋文人(国際医療福祉大学)

7) 標準化リソースへのアクセスのあり方 山本隆一(東京大学大学院医療経営政策学)

16:20 パネルディスカッション「これからの医療情報の標準化に求められるもの」

司会 山本隆一(東京大学大学院医療経営政策学)

パネリスト：厚生労働科学研究班メンバー

16:45 終了挨拶

◆◆◆

主催：厚生労働科学研究・地域医療基盤開発推進研究事業

「電子的医療情報の利活用に必要な標準化の普及策に関する研究」研究班

後援：日本医療情報学会関東支部会

技師部会ポイント申請予定

参加費：無料

資料準備の都合上、事前申し込み(所属、お名前)を下記までお願いします。当日参加も

可能ですが、

資料が不足する場合はお渡しできない場合があります。

申し込み・問い合わせ先：電子メール sym20140317@adm.h.u-tokyo.ac.jp

研究班代表・大江和彦（東京大学医学部附属病院企画情報運営部）TEL:03-5800-6427

<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/medinfo/sympo2014std.html>